

「元気な浜田」をつくるための ロードマップ。

平成28年2月
浜田市

浜田市が目指す将来像

住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田
～豊かな自然、温かい人情、人の絆を大切にすまち～

平成27年12月に「第2次浜田市総合振興計画」を策定し、浜田市が将来像を実現するために、7つのまちづくり大綱を掲げました。

「第2次浜田市総合振興計画」に基づき「元気な浜田」をつくるために、これまでの3つの重点政策（Ⅰ 産業振興、企業誘致などによる雇用の場の確保、Ⅱ 子育て支援、教育の充実、Ⅲ 高齢者が安心して暮らせるまちづくり）を、まちづくり大綱の各種施策に包含し、再構築して取り組んでまいります。

7つのまちづくりの大綱

- I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち
- II 健康でいきいきと暮らせるまち
- III 夢を持ち郷土を愛する人を育むまち
- IV 自然環境を守り活かすまち
- V 生活基盤が整った快適に暮らせるまち
- VI 安全で安心して暮らせるまち
- VII 協働による持続可能なまち

このロードマップにおいて、7つのまちづくり大綱の中でも、特に重点的に取り組む項目や、その他の市政運営に係る重要な事項について、いつ検討し、いつやるのか、という行程を具体的に表しました。

浜田市長 久保田 章市

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

I：活力のある産業を育て雇用をつくるまち

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度			
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価				
1	水産業の活性化	10年後に水揚高100億円達成	実施した内容	1 漁船老朽化対策を含めた地元漁船の確保・存続対策	実施した内容	1 漁船老朽化対策を含めた地元漁船の確保・存続対策	計画	1 漁船老朽化対策を含めた地元漁船の確保・存続対策	 			
				<ul style="list-style-type: none"> (1) 沖合底曳網漁業5ヶ統の存続対策 (リシップ事業～対象4ヶ統) <ul style="list-style-type: none"> ①A船団～リシップ事業開始(8月) ②B船団～リシップ事業開始(8月) ③C及びD船団～経営体及び関係機関との協議の実施 (2) まき網漁業2ヶ統の存続対策 <ul style="list-style-type: none"> ①まき網漁業の改革に向けた課題の整理と方向性の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・地元経営体へのヒアリング実施 ・関係機関との協議の実施 ②まき網漁業構造改革計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・地元経営体、関係機関との協議の実施 ・改革計画策定未着手 		<ul style="list-style-type: none"> (1) 沖合底曳網漁業5ヶ統の存続対策 (リシップ事業～対象4ヶ統) <ul style="list-style-type: none"> ①A船団～実証事業の継続(2年目) ②B船団～実証事業の継続(2年目) ③C船団及びD船団 <ul style="list-style-type: none"> ・経営体及び関係機関との協議 ・方針決定 ・C及びD船団リシップ工事(6～7月) ・C及びD船団実証事業開始(8月) (2) まき網漁業2ヶ統の存続対策 <ul style="list-style-type: none"> ①まき網漁業の改革の方向性協議 <ul style="list-style-type: none"> ・関係者(経営体、島根県)との協議の実施 ②まき網漁業構造改革計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・地元経営体、関係機関との協議の実施 ・改革計画策定未着手 		<ul style="list-style-type: none"> (1) 沖合底曳網漁業5ヶ統の存続対策 (リシップ事業～対象4ヶ統) <ul style="list-style-type: none"> ①A船団～2年間の実証事業完了 ②B船団～2年間の実証事業完了 ③C船団～実証事業の継続(2年目) ④D船団～実証事業の継続(2年目) (2) まき網漁業2ヶ統の存続対策 <ul style="list-style-type: none"> ①まき網漁業の改革の方向性決定 <ul style="list-style-type: none"> ・関係者との協議 ②まき網漁業構造改革計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・地元経営体、関係機関との協議 ・改革計画策定 				
				○		○		○		○	○	○
				△		△		△		△	△	△
			2 市場施設、設備等の整備		2 市場施設、設備等の整備		2 市場施設、設備等の整備					
			<ul style="list-style-type: none"> (1) 市場(荷捌所等)受入設備整備に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ①高度衛生管理型荷捌所及び新荷捌所の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・関係者協議の実施 ・方針決定 ⇒整備主体は市として、高度衛生管理基本計画策定を水産庁へ依頼 (2) 冷凍冷蔵庫の整備検討 <ul style="list-style-type: none"> ・既存冷凍冷蔵庫業者等への聞き取り ・市外施設の調査、研究 		<ul style="list-style-type: none"> (1) 高度衛生管理型荷捌所の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・水産庁による高度衛生管理基本計画の策定に着手 ・第1回浜田漁港高度衛生管理検討協議会開催(7月) ・第1回市場ワーキング開催(8月) ・第2回市場ワーキング開催(12月) ・計画に関して県、JFしまねと協議 ・補助事業採択のための資料作成 (2) 冷凍冷蔵庫の整備方針策定 <ul style="list-style-type: none"> ・市外施設の事例研究 ・整備方針についての関係者による勉強会(5月) ・整備方針未決定 		<ul style="list-style-type: none"> (1) 高度衛生管理型荷捌所の整備 <ul style="list-style-type: none"> ①整備方針の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・水産庁による高度衛生管理基本計画の公表 ・整備計画に関する関係者との協議 ②方針に基づく事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業採択 ・第1期工事の基本設計・実施設計 (2) 冷凍冷蔵庫の整備方針策定 <ul style="list-style-type: none"> ・水産関係者との協議 ・整備方針の検討 ・方針決定 					
			○	○	○	○	○					
			△	△	△	△	△					

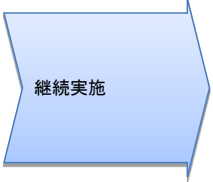
「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

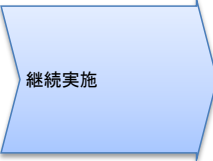

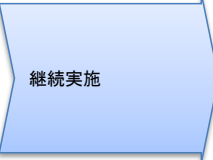
<p>3 漁港エリア活性化対策 (1) 瀬戸ヶ島埋立地の活用 ① 検討組織の設置 ・地域プロジェクト連絡会議開催 ・瀬戸ヶ島埋立地活用研究会設置</p> <p>② 瀬戸ヶ島埋立地活用基本方針(素案)作成 ・委託事業者の決定 ・瀬戸ヶ島埋立地活用研究会開催(計6回開催予定) ・関係者への説明・協議</p> <p>(2) しまねお魚センター活性化 ・関係者(会社・テナント)協議 ・再建に向けた方針決定 ・リニューアルオープン(12月20日)</p> <p>(3) 公設水産物仲買売場のあり方の検討 ・平成26年度未着手</p>	△			<p>3 漁港エリア活性化対策 (1) 瀬戸ヶ島埋立地の活用 ① 水産事業の可能性を先行調査 ・(株)自然産業研究所に委託</p> <p>② 基本方針の検討 ・研究会開催(28年3月予定) ・基本方針は平成28年度に決定</p> <p>(2) しまねお魚センター活性化 ・広島方面への水産物PR強化 ・観光バスの誘致活動 ・賑わいイベントの開催 ⇒山陰浜田港水産物販売促進機構によるPRやイベント等の支援 ・活性化取組の中間検証(27年度中に実施予定)</p> <p>(3) 公設水産物仲買売場のあり方の検討 ・類似施設の調査 ・関係者からの意見聴取</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black;">瀬戸ヶ島の活用の動向を踏まえて検討するため、一時中断</p>	△			<p>3 漁港エリア活性化対策 (1) 瀬戸ヶ島埋立地の活用 ① 水産事業可能性調査の実施 ・詳細調査の実施</p> <p>② 基本方針作成 ・パブリックコメント実施 ・基本方針の決定</p> <p>③ 事業実施に向けた調整 ・関係団体や地元への説明 ・関係機関協議</p> <p>(2) しまねお魚センター活性化 ・広島方面への水産物PR強化 ・観光バスの誘致活動 ・賑わいイベントの開催 ・中間検証に基づく取組 ・荷捌所の整備動向及び瀬戸ヶ島埋立地の活用を踏まえた方針検討</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> </div>
---	---	--	--	--	---	--	--	--

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価		
2	儲かる農業の推進	・将来の浜田の顔となる農産物の育成 ・拠点農業団地などの優良農地の整備	実施した内容		実施した内容		計画			
			1 浜田の顔プロジェクト (1) 振興作物の育成支援(1億円農産物の創出) ① 振興作物の決定 ・「大粒ぶどう」、「赤梨」、 ・「西条柿」の3作物を決定	○	△	1 浜田の顔プロジェクト (1) 振興作物の育成支援(1億円農産物の創出) ① 振興計画の作成 ・28年3月策定予定 ② 専門機関による栽培技術、加工技術の調査研究 ・冷凍保存実験、長期保存実験を実施 ③ 実験圃場等の整備 ・大粒ぶどう・西条柿実験圃場設置支援 ④ 営農計画転換、新植・補植等への支援、補助 ・新品種視察の実施 ・新植・補植の支援を実施 ⑤ ハウス等施設整備・改修への補助 ・施設整備への支援を実施	○	△	1 儲かる農業の推進 (1) 振興作物の育成支援 ① 営農プランの作成 ② 栽培技術、加工技術の調査研究 ③ 実験圃場等の整備 ④ 営農計画転換、新植・補植等への支援、補助 ⑤ ハウス等施設整備・改修への補助 ⑥ 圃場面積拡大への事業導入支援	○
			(2) 加工品開発(農商工連携・6次産業化) ・地域と連携した振興作物の加工品開発の検討	△	(2) 農家所得500万円以上を目指す仕組みづくり ① 組合わせ作物の決定 ・「大豆」、「キャベツ」、「あすっこ」、「アスパラガス」の4作物を決定 ② 地域ぐるみで取り組む農業(集落営農組織、新規就農者など)への支援 ・機械等施設整備の支援を実施 ③ 集出荷施設等の整備 ・三隅育苗センター整備を支援	△	(2) 農家所得500万円以上を目指す仕組みづくり ① 振興計画の作成 ② 栽培技術・加工技術の調査研究 ③ 実験圃場等の整備 ④ 集出荷施設等の整備 ・西条柿加工場の整備支援	△	△	継続実施
			(3) 販路拡大 ① 山陽地区・首都圏への販路拡大 ・バイヤーとの商談会参加 ・プロモーション販売の実施 ② 近隣市町との連携による販路開拓	△	(3) 6次産業化の推進 ① 6次産業化の推進 ・獣肉処理加工施設整備を支援 ② 農福連携の推進 ・加工品新商品開発の協議	△	(3) 販路拡大の支援 ① 6次産業化の推進 ② 農産物ブランド化の推進 ③ はまだ産業振興機構との連携 ④ ふるさと納税への農産物提供	△	○	加工品の試作、販売
			2 大規模な農業団地の整備(元谷団地の開発) ・事業実施計画(造成等)の作成 ・用地取得(12月)	○	2 大規模な農業団地の整備(元谷団地の開発) (1) 県営事業着手(畑地35haの圃場整備) ① 現地測量、実施設計 ・県営事業着手 (2) 支障物撤去 ・28年3月完了予定	○	2 大規模な農業団地の整備(元谷団地の開発) (1) 県営事業実施(畑地35haの圃場整備) ① 土地造成等	○	○	継続実施(平成30年度供用開始予定)
										入植者の募集(認定農業者、新規就農者等)

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

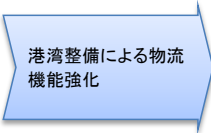
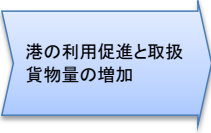
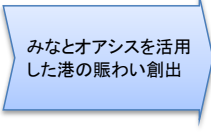
No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
3	BUY浜田運動	生産者の売上を増加させる							
		実施した内容			実施した内容			計画	
								1 BUY浜田運動の推進 (1)対象商品の選定 (2)協力店の募集 (3)地産地消の啓発 ・浜田市産品の選定(商品の差異化) 商品の個別指定化 ・啓発、普及 幟旗、ロゴ・シール作成 広報、メディアを利用した啓発、普及	

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
4	若者や女性、シニア層の起業を支援	起業者の増加							
		実施した内容			実施した内容			計画	
			○		○			1 起業マインドの醸成・起業支援 (1)起業セミナーの開催 ①女性の起業セミナー 「女性のための独立・創業セミナー」 ・開催：7～8月。計5回。 ・内容：ノウハウや知識習得、発表 ②若者からシニア世代の起業セミナー 「浜田を元気にする創業塾」 ・開催：11月～12月。計5回。 ・内容：起業実施力の醸成、発表	 
			△	○	△	△	△	(2)起業者育成・フォローアップ事業の展開 ①起業者育成・フォローアップの検討・実施 ・起業支援の補助事業実施 ②関係機関との連携 ③セミナーの開催 ・起業家シンポジウムの開催 ・クラウドファンディング活用セミナーの開催	
				△	No.8「企業誘致」において適地の利用検討に包括するため削除				





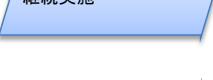
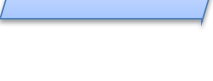
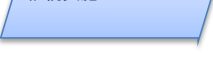
「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度				
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価					
5	広島プロジェクトチーム事業	・販路拡大 ・浜田港利活用促進 ・企業誘致	実施した内容	1 販路拡大支援 (1)リーフレット作成	○	○	1 販路拡大支援 (1)水産物の販路開拓 ①新規取引先の開拓に向けた営業活動 ・外食産業、スーパー、食品加工業者等 ②取引拡充を目的とした継続的なフォローアップ ③バイヤー招聘	○	○	1 販路拡大支援 (1)水産物の販路開拓 ①新規取引先の開拓に向けた営業活動 ・外食産業、スーパー、食品加工業者等 ②取引拡充を目的とした継続的なフォローアップ ③バイヤー招聘	・新規取引先の開拓 ・フォローアップを含め、継続した企業訪問の実施 ・関係機関との連携、協力		
				(2)販路拡大支援のため営業活動を実施 ・アプローチ件数:115件 ・取引成立件数:12件	○			(2)関係機関との連携、協力 【アプローチ件数:89件】 【取引成立件数:30件】				○	(2)関係機関との連携、協力
				2 ポートセールス (1)アドバイザーの選任 :1名	○			2 ポートセールス (1)企業訪問 ①輸出入の状況調査 ②ビジネスマッチングの実施				○	2 ポートセールス (1)企業訪問 ①輸出入の状況調査 ②ビジネスマッチングの実施
(2)関係機関との情報共有、連携 ①会議への参加 ②セミナー等への参加、協力:2回	△	(2)関係機関との連携、協力 ①貿易セミナーの開催:未実施 ②アドバイザーとの情報交換会の開催:2回	△	(2)関係機関との連携、協力 ①貿易セミナーの開催:未実施 ②アドバイザーとの情報交換会の開催:2回	△								
(3)企業訪問 ・広島県北部地域:1件 ・広島市内含む山陽地区他:37件 ・大阪:1件 ・東京:1件 ・岡山:1件	○	△	△	△	△								
				3 企業誘致 (1)企業誘致のため営業活動を実施 ・アプローチ件数:42件 ・相談数件あり		△	3 企業誘致 (1)関係機関との連携、協力 ①企業情報の収集、共有 ②企業への継続的なアプローチ		-	△	(2)誘致対象地の選定 No.8「企業誘致」において包括	・関係機関との連携、協力 ・誘致対象地の選定 ・積極的な情報収集	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
6	浜田港の活用	浜田港を活用し、産業振興を図る					1 浜田港の振興 (1) 港湾整備による物流機能強化 ・船舶大型化に向けた岸壁工事完了 ・浜田港長期構想検討委員会による検討 ・臨港道路福井4号線の整備 ・新北防波堤の整備 ・ガントリークレーンの整備 (2) 港の利用促進と取扱貨物量の増加 ①新規・大口荷主の獲得 ・企業訪問によるポートセールス ②集貨対策への取組 ・周辺市町や有識者との連携 ③ロシア貿易の拡大 ・「ロシア貿易発展プロジェクト」の更なる強化、充実 (3) みなとオアシス等を活用した港の賑わい創出 ①クルーズ客船の誘致促進 ②みなとオアシス等が実施するグルメイベントの誘致と全国大会への参加の検討 ③浜田港を利用した独自イベントの検討	  	

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度			
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価				
7	「ようこそ！浜田」運動の推進	観光・交流人口の増	実施した内容	1 観光資源の発掘及び観光コースの企画 (1) 浜田の「お宝」掘り起こしと情報発信機能の充実 ・公募による「宝さがし」実施(5月～6月) ・応募者数203名、応募総数473件、お宝件数312件 ・観光コースを10コース作成 ・ホームページ掲載、チラシの窓口設置 (2) 観光コースおすすめ企画及びモニター検証の実施 ・「観光おすすめコース」の作成(10コース)	○	△	1 観光資源の発掘及び観光コースの企画 (1) 浜田の「お宝」掘り起こしと情報発信機能の充実 ① 浜田の「お宝」の情報発信 ・観光おすすめコースのチラシ設置 ・ホームページによる情報発信 (2) 観光コースおすすめ企画及びモニター検証の実施 ・アンケート調査の実施(5月～9月) ・モニターツアーは見送り ・観光コースの見直し、拡充	○	△	○	1 「お宝観光資源」を活用した観光商品化 (1) 「観光おすすめコース」の充実 ・観光コースマップの見直し、拡充 ・観光おすすめコースの商品化検討 (2) 産業観光の企画検討 ・運営体制の検討 ・コース設定の検討 (3) インバウンド対策 ・モニターツアーの実施 ・外国人宿泊者対象のアンケート調査	  
				2 交流人口増加の仕組みづくり (1) 浜田市合宿等誘致事業の実施 ・合宿件数102件、宿泊数3,642泊(27年3月末) (2) 研究会、シンポジウム等の誘致 ・コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーンの誘致(参加者364名) ・広浜鉄道今福線を活かすシンポジウム実行委員会設置 ・浜田でコーヒーを楽しむ会実行委員会設置 ・「コーヒー学入門」開催(参加約140名) ・自転車ロードレース大会の開催、効果の検証 ・ユネスコ和紙シンポジウムの誘致活動	○	○	2 交流人口増加の仕組みづくり (1) 浜田市合宿等誘致事業の実施 ・合宿70件、宿泊数3,267(11月現在) (2) 研究会・シンポジウム等の誘致 ① コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーンの誘致(参加者352名) ② 広浜鉄道今福線を活かすシンポジウム開催(参加者191名) ③ 浜田でコーヒーを楽しむ会開催(参加者168名) ④ ユネスコ和紙シンポジウム開催(8月東京開催、参加者約300名) ⑤ 山陰浜田港マリン大橋リレーマラソン大会の開催(28年2月) (3) コンベンション等の誘致 ① 誘致体制づくり ・誘致活動連携組織立ち上げ準備 ② プロモート体制づくり ・ホームページ開設(28年3月) ③ 助成制度の実施 ・4件(11月現在) (4) ツーリズムによる都市農山漁村交流 ① 基盤整備 ・専門職員の配置 ・浜田市ツーリズム協議会会員30件(28年1月現在) ・民泊件数17件(28年1月現在) ② 5か年経営計画策定 ③ 体験教育旅行の誘致活動	○	○	○	2 交流人口増加の仕組みづくり (1) 浜田市合宿等誘致事業の実施 ・助成制度の継続実施 (2) 研究会・シンポジウム等の誘致 ① リレーマラソン大会の検証、継続開催 ② サイクリング大会研究、準備 ③ ユネスコ和紙サミット開催(7月) (3) コンベンション等の誘致 ① 誘致体制づくり ・誘致活動連携組織の立ち上げ ② 誘致活動 ③ 助成制度の継続実施 (4) ツーリズムによる都市農山漁村交流 ① 基盤整備 ・専門職員の配置 ・浜田市ツーリズム協議会会員増加 ・民泊件数増 ② 体験教育旅行の誘致活動 ③ 浜田市ツーリズム協議会の法人化の検討、準備	   

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

	<p>(3) 自治体との交流、協定</p> <p>① 邑南町との「食」を通じた観光・文化交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食」を通じた観光・文化交流協定締結(7月) ・島根ふるさとフェアで両市町のPRチラシを配布(27年1月) ・協定記念フォーラムの開催(27年2月) <p>② 松阪市との民間交流支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宣長まつりへの参加(4月) ・「浜田市*松阪市友好会」設立総会(7月) 	○	<p>3 自治体等の交流、協定</p> <p>(1) 国際交流</p> <p>① ブータン王国との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JICA事業による紙すき技術支援 ・美術交流 ・中学生交流 <p>(2) 都市間交流</p> <p>① 邑南町との「食」を通じた観光・文化交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食」を通じた観光共同パンフレットは未作成 ・スタンプラリーの実施(11月) ・ホームページで食情報の紹介の調査検討 ・講演会やおもてなし研修の開催 ・共同PR、イベント出展 ・ふるさと寄附特産品の提供 <p>② 松阪市との交流協定検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの相互参加 ・市民団体間の交流支援 <p>③ 知音都市交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民団体間の交流支援 <p>④ 筆と和紙の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの相互参加 	○	<p>3 自治体等の交流、協定</p> <p>(1) 国際交流</p> <p>① ブータン王国との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙すき技術支援(事業検証) ・美術交流 ・中学生交流 <p>(2) 都市間交流</p> <p>① 邑南町との「食」を通じた観光・文化交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両市町の食材を使った創作料理開発 ・食のイベントの共同実施 ・イベント出展 ・外国語パンフレット・マップ作成 <p>② 松阪市との交流協定検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定締結 ・イベントへの相互参加 ・市民団体間の交流支援 <p>③ 知音都市交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民団体間の交流支援 <p>④ 筆と和紙の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの相互参加 ・特産品交流の検討 	<div style="text-align: center;">   </div>
	<p>3 「おもてなし」のまちづくり</p> <p>上記1及び2に注力するため、平成27年度に取組開始延期</p>	×	<p>4 「おもてなし」のまちづくり</p> <p>(1) おもてなしのスキルアップ</p> <p>① おもてなし研修及び勉強会開催(3回) (対象:市民及び観光関係者等)</p> <p>(2) 現地ガイドの育成・充実</p> <p>① 観光ボランティアガイド、観光関係者、地域住民等を対象とした観光コースの現地研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広浜鉄道今福線ガイドの実地研修 ・浜田市観光ボランティアガイドの会独自研修の実施 <p>② 観光協会の体制強化(案内体制を検討、案内窓口機能の充実)</p>	△	<p>4 「おもてなし」のまちづくり</p> <p>(1) 受け入れ体制の充実</p> <p>① 市内観光事業者等にイベント情報等の提供の仕組みづくり</p> <p>② 観光地勉強会の開催</p> <p>(2) 現地ガイドの育成・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ボランティアガイド育成勉強会の開催(広浜鉄道今福線、浜田開府400年関連等) <p>(3) 観光協会の組織体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の整理、案内体制の検討 ・案内窓口機能の充実等 	<div style="text-align: center;">    </div>

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ




No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度			
				評価	総合評価		評価	総合評価				
8	企業誘致	適地を確保し、企業誘致	実施した内容	1 適地の調査・検討(公共用地等調査) (1)適地リストを作成 ・土地:適地25件、やや適地26件 ・建物:適地 5件、やや適地 1件 (2)公共施設(廃校利用)調査・検討整備 ①後野小、佐野小の消防設備等を整備 ②廃校リストを作成 ・遊休施設活用候補 4施設	○	○	実施した内容	1 適地の確保 (1)適地の確保 ①適地、対象地の選定 ②浜田港臨海工業団地等への立地促進 (2)公共施設(廃校含む)の活用 ①調査・検討・整備の継続 ②浜田市ホームページで遊休施設活用候補の公募	○	△	計画	公共施設(廃校含む)調査、検討、整備事業 ・既存団地の活用 ・適地の造成検討、必要に応じ、造成開始
				2 企業誘致活動 ・山陰合同銀行との企業誘致に係る成功報酬の協定締結(5月) ・後野小学校に東京のIT企業進出決定(27年2月) ・浜田市企業立地促進奨励金の規則の要件を緩和(27年2月)		○		2 企業誘致活動 ・島根県企業立地課及び山陰合同銀行、日本政策金融公庫、日本海信用金庫との更なる連携強化 ・企業立地セミナー、企業訪問での誘致活動の実施 ⇒誘致見込1社		△		2 企業誘致活動 ・新規立地に向けた企業立地セミナーや企業訪問活動の強化(製造業、IT企業、旅館業等)

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

Ⅱ：健康でいきいきと暮らせるまち

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度			
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価				
9	子育てしながら働けるより良い環境づくり	・待機児童ゼロ ・子育て世帯の経済的負担軽減 実施した内容	1 待機児童ゼロに向けた取組 (1) 保育士の処遇改善 ・市内全認可保育所26園で国制度事業の取組実施 (2) 保育士確保 ・保育士修学資金貸付の実施 ・島根県貸付への上乗せ貸付及び償還免除規定を定める ⇒貸付決定5名 (3) 0歳児受入促進 ・施設での保育士確保での受入拡充へ助成実施(22園) ・産休・育休復帰入所希望調査	○	○	1 待機児童ゼロに向けた取組 (1) 保育士の処遇改善 ① 子ども・子育て支援事業に基づく事業実施(国制度活用) ・市内全認可保育所26園で実施 ・基本給、賞与、手当、一時金の増額 一人当たり平均年額19,704円の増額(定期昇給等を除く処遇改善見込額)(対象は、非正規職員を含む全職員) (2) 保育士確保 ① 保育士確保状況 ・平成27年度採用保育士数 22人(他保育園からの転園者を除く) ② 保育士修学資金貸付事業【継続】 ・保育士修学資金貸付の実施 ・2年目貸付決定5名 ・新規貸付決定2名 (3) 0歳児受入促進(28年2月現在) ① 保育士追加配置補助【継続】 ② 事業検証 ・0歳児入所児童数256人(入所率98.1%) ・0歳児待機児童数5人 ・0歳児入所児童のうち産休・育休復帰優先受入児童数50人	○	○	1 待機児童ゼロに向けた取組 (1) 保育士の処遇改善 ・市内全認可保育所26園で国制度事業の継続 (2) 保育士確保 ・保育士修学資金貸付の実施 ・各高等学校への修学資金貸付制度PR強化 ・中高生に対する職業としての保育士PR (3) 0歳児受入促進 ・施設での保育士確保による受入促進へ助成継続 ・産休・育休復帰優先受入継続 (4) 施設定員の増加 ・新設保育所の整備支援 2施設	○	○	計画 継続実施 継続実施 継続実施 受入実施
			2 子育て世帯の経済的負担軽減 (1) 保育料の軽減 ・第3子以降保育料軽減の年齢制限撤廃(軽減対象373名(27年2月)) (2) 医療費の負担軽減 ・現行「小学校6年生まで」の児童医療費助成対象者を「中学校3年生まで」に拡充することに向けた検討・準備 ・拡充対象者への申請案内(27年1月) ・資格者証の送付(27年3月)	○	○	2 子育て世帯の経済的負担軽減 (1) 保育料の軽減 ① 第3子以降保育料の軽減拡充【継続】 ・第3子以降保育料軽減の継続(軽減対象346名(12月現在)) (2) 医療費の負担軽減 児童医療費助成対象者を「中学校3年生まで」に拡充 ・4月診療分から助成開始 自己負担限度額(1か月、1医療機関) 入院：2,000円 通院：1,000円 ・未申請者への勧奨案内(4月、10月) ・中学生への資格者証交付状況 1,358人(98.5%)(28年1月末現在) ・中学生1人当り医療費負担軽減額 6,440円(4～12月累計額)	○	○	2 子育て世帯の経済的負担軽減 (1) 保育料の軽減 ・第3子以降保育料軽減の継続 ・第1子、第2子保育料軽減の拡充 ・ひとり親家庭保育料軽減の拡充 (2) 医療費の負担軽減 児童医療費助成対象者を「中学校3年生まで」として継続実施 自己負担限度額(1か月、1医療機関) 入院：2,000円 通院：1,000円	○	○	継続実施 継続実施

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
			評価	総合評価	評価	総合評価		
10	妊娠出産に関する悩みや不安の解消	不妊治療等に対する支援	実施した内容	実施した内容	計画	1 不妊治療等に関する支援 (1) 一般不妊治療補助の拡充 ・限度額引き上げ 年間 40,000円 → 80,000円 (2) 特定不妊治療補助の新設 ・市助成上限 治療1回あたり75,000円 (最大で通算6回まで) ・島根県の補助に上乗せで補助 (3) 不育治療補助の新設 ・上限 妊娠1回あたり50,000円	  	

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
11	高齢者福祉施設の拡充	施設入所待機者の縮減	実施した内容		実施した内容		計画		<div data-bbox="1921 268 2132 347" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">整備施設の供用開始</div> <div data-bbox="1921 434 2132 513" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> 継続実施 </div>
			1 入所施設の拡充 (1) 第5期介護保険事業計画の実施 ① 特別養護老人ホーム(30床)整備 ・27年4月開設(長沢町)	○	○	1 入所施設の拡充 (1) 第5期介護保険事業計画 ① 特別養護老人ホームロング・レン(長沢町) ・30床+ショートステイ10床を4月1日に供用開始	○	○	1 入所施設の拡充 (1) 第6期介護保険事業計画 ① 事業者による施設整備 ・特別養護老人ホーム ・認知症対応型グループホーム ・小規模多機能型居宅介護
			(2) 第6期介護保険事業計画の策定 ① 特養老人ホーム整備(30床) ② 認知症対応型グループホーム整備(18床) ③ 複合型サービス又は小規模多機能型居宅介護施設整備(1事業所)	○	○	(2) 第6期介護保険事業計画 ① 整備事業者の募集(広域)(6月~8月) ② 整備事業者の選定(広域)(9月) ・特別養護老人ホーム30床(金城町久佐) ・認知症対応型グループホーム1ユニット(9床)(江津市内) ・小規模多機能型居宅介護1事業所(久代町) ③ 事業者による施設整備 ・平成28年度以降	○	○	(2) 介護人材の確保 ① 地元人材の活用 ・支度金の助成 補助率2分の1、上限1人あたり10万円 ② UIターン人材の活用 ・支度金の助成 補助率3分の2、上限1人あたり20万円 ※シングルペアレント受入事業該当者には、他の助成制度も有り ③ 人材育成(新規雇用者の研修) ・研修費の助成 補助率10分の10、上限1事業所あたり10万円
				○	○	(3) 介護人材の確保 ① 地元人材の活用 … 14名の雇用に対し助成 ② UIターン人材の活用 … 4名の雇用に対し助成 ※シングルペアレント受入事業による雇用 ③ 人材育成 … 1事業所(3名)の新規雇用者の研修に対し助成 ※年度途中に要件を「新規雇用」から「1年以内の研修」に緩和(従来は同年度内)	○	○	
						【28年2月12日現在】			

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

Ⅲ：夢を持ち郷土を愛する人を育むまち

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価			
12	学力向上 (項目名変更)	全国学力・学習状況調査結果からの課題に対する支援	実施した内容	1 国語教育の充実 (1)読書・作文活動の推進 ・読書ノートを全児童生徒に配布 ・学校図書館貸出冊数 (27年3月末) 小学生:平均57冊 中学生:平均16冊 ・学校訪問による学校図書館支援員等への支援・アドバイスの実施	○	実施した内容	1 国語教育の充実 (1)読書・作文活動の推進 ・読書ノートを全児童生徒に配布 ・学校図書館貸出冊数(年間目標:小学生60冊、中学生15冊) ・学校訪問による学校図書館支援員等への支援・アドバイスの実施 (全小中学校で実施)	○	1 国語教育の充実 (1)読書・作文活動の推進 ・読書ノートを全児童生徒に配布 ・学校図書館貸出冊数(年間目標:小学生60冊、中学生15冊) ・学校図書館支援員等への支援・アドバイスの実施	成果を踏まえた事業の再検討	
				(2)学校図書館の活用促進 ・教員、学校司書等を対象の図書館活用教育の研修会実施(8回) ・学校図書館活用教育研究指定校(2校)での公開授業の実施(14回) ・小中学校 調べる学習コンクールを実施(応募作品:161点) ・学校図書館活用教育授業の指導主事による学校訪問指導を実施	○		(2)学校図書館の活用促進 ・教員、学校司書等を対象の図書館活用教育推進の研修会の開催(9回) ・学校図書館活用教育研究指定校(4校)での公開授業の実施(16回) ・小中学校調べる学習コンクールの実施(応募作品:228点) ・学校図書館活用教育授業の指導主事による学校訪問指導の実施(6回)	○	(2)学校図書館の活用促進 ・教員、学校司書等を対象の図書館活用教育推進の研修会の開催 ・学校図書館活用教育研究指定校(4校)での公開授業の実施 ・小中学校調べる学習コンクールの実施 ・学校図書館活用教育授業の指導主事による学校訪問指導の実施		成果を踏まえた事業の再検討
				(3)国語を中心とした授業改善 ・教員(3名)の福井市視察研修及び公開授業・視察報告会の実施(3回) ・示範授業(5年国語)による授業力向上研修を実施(92名参加) ・新しい学びプロジェクト(協調学習)研修会を実施(21名参加) ・協調学習公開授業(4年算数)を実施(25名参加) ・家庭学習ノートコンテストを実施(応募ノート 133点) ・好事例をまとめたパンフレットを市内全ての児童生徒に配布	○		(3)国語を中心とした授業改善 ・教員による先進地視察研修及び公開授業・視察報告会の実施 福井市視察研修 5日間 3名 公開授業・視察報告会(3回) ・スーパーティーチャー示範授業による授業力向上研修の実施 小学校4年 国語(85名参加) ・新しい学びプロジェクト(協調学習)研修会の実施(23名参加) ・協調学習公開授業の実施(5回) ・家庭学習ノートコンテストの実施 好事例を児童生徒に紹介	○	2 家庭学習の充実 (1)家庭学習ノートコンテストの実施 (2)学習プリント配信システムによるプリント学習支援 (3)土曜学習の実施		
			○	3 教員の授業力向上 (1)指導主事による学校訪問指導 (2)授業力向上研修 ・スーパーティーチャー示範授業による授業力向上研修の実施 ・新しい学びプロジェクト(協調学習)研修会の実施 ・協調学習公開授業の実施 (3)県外視察研修 ・教員による先進地視察研修及び公開授業・視察報告会の実施		成果を踏まえた事業の再検討					

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

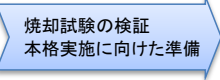

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
				評価	総合評価		評価	総合評価		
13	ふるさと郷育推進	ふるさとを愛する子どもを育てる	実施した内容			実施した内容	計画		成果を踏まえた事業再検討	
			<p>1 ふるさと郷育推進</p> <p>(1)「ふるさと郷育」の推進をも踏まえた家庭教育支援のあり方を社会教育委員の会に諮問(4月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の会開催(9回) ・答申(12月) <p>浜田市の家庭教育のあり方～つなぐ つながる 家庭教育支援～</p> <p>(2)「ふるさと郷育」推進に係る事業の協議</p> <p>①郷土の偉人紹介本作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偉人(304人)の抽出(10月) ・編集体制の検討 <p>②ふるさと再発見事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例発表会の開催(27年1月) ・事業実施研修会の開催(27年1月) <p>③つなぐ、つながる事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の会へ答申資料として通学合宿及び三世代交流実績提供 <p>(3)「浜田市ふるさと郷育推進方針について」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方針の作成(27年1月) ・浜田市校長会、教頭会への説明(27年2月) 	○	○	○	△	○	○	<p>1 ふるさと郷育推進</p> <p>(1)浜田市郷土教材の活用、作成</p> <p>①「浜田市の人物読本 ふるさとの50人」の活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に小学校4、5、6年生に配付 ・授業等での活用推進 <p>②「(仮称)浜田の歴史」作成準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度完成予定 <p>(2)ふるさと再発見事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象とした体験型学習プログラム(地域学)を中学校区内で作成、実施 ・地域で子どもを育むため、大人を対象とした体験型学習プログラム(地域学)を自治区内で作成及び実施 <p>(3)つなぐ、つながる事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館が行う三世代交流事業を支援 ・公民館と地域と学校と家庭が連携する通学合宿を支援 <p>(4)ふるさと教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育における「ふるさと教育」を支援【ふるさと教育推進事業】 ・学校教育の中で園児・児童が浜田市の海や山等の自然を活用する体験授業を支援【自然体験活動推進事業】 ・ネットワーク会議の開催(学校・地域・家庭の連携協働会議) <p>(5)(仮称)浜田市ふるさと郷育推進大会の開催準備(29年2月開催予定)</p>

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度					
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価						
14	浜田開府400年記念事業	浜田市の歴史・文化の魅力を再認識し、発信する	実施した内容	1 浜田城周辺整備基本方針(案)作成 (1) 庁内連絡会議開催	○	△	実施した内容	1 浜田城周辺整備事業 (1) 基本方針作成 ・浜田城周辺整備検討会の設立(11月) 会議開催(11月～3月、月1回開催) ・基本方針【城山公園整備】(案)に対するパブリックコメントの実施(28年1月～2月) ・基本方針【城山公園整備】の検討・決定(28年3月決定) ・基本方針【(仮称)浜田歴史神楽資料館整備】の検討	△	△	計画	1 浜田城周辺整備事業 (1) 城山公園整備事業 ・関係機関等との協議 ・事業実施	事業実施 (平成31年度完成目標)	
				(2) 基本方針作成業務に係る補正予算案を9月議会定例会に上程し、可決	○			(2) 城山公園整備事業 ・関係機関との協議	○			(2) (仮称)浜田歴史神楽資料館整備事業 ・関係機関等との協議 ・浜田城周辺整備検討会の開催 ・基本方針【(仮称)浜田歴史神楽資料館整備】(案)に対するパブリックコメントの実施 ・基本方針【(仮称)浜田歴史神楽資料館整備】の検討・決定 ・事業実施	△	事業実施 (平成32年度開館目標)
				(3) 委託事業者を11月に決定し、基本方針(案)の作成に向けた検討・協議	○			(3) (仮称)浜田歴史神楽資料館整備事業 ・関係機関との協議	△					
				(4) 基本方針(案)の作成以下の3項目に取り組む ・浜田城周辺整備事業 ・(仮称)浜田歴史館整備事業 ・(仮称)石見神楽館整備事業(御便殿活用) ⇒議論が不十分であり、年度内作成は見合わせ	×			2 浜田開府400年イベント事業 ・イベント検討 ・浜田城復元CG制作 ・浜田開府400年記念プレ講演・座談会(浜田城復元CGの紹介等)(11月) ・関連イベントの視察活動		○		2 浜田開府400年イベント事業 ・イベント検討 ・プレイベント(講演会、学習会)実施 ・関連イベントの視察活動	プレイベント実施、準備・検討 実行委員会設立	平成31年実施

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

IV：自然環境を守り活かすまち

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度						
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価							
15	市民のごみ排出負担の軽減	分別の簡素化(平成27年度から変更)	実施した内容	1 ごみ袋の簡素化(5種類13サイズ) (1) 県内他市の状況調査 ・県内他市ごみ袋サンプル収集 ・状況聞き取り及び意見交換 現行のごみ袋の種類、分別における問題点等を整理	○	× (中止としたため)	実施した内容	1 分別の簡素化を目的とした廃プラスチック類の焼却について	○	○	計画	1 分別の簡素化を目的とした廃プラスチック類の焼却について	○	△	 焼却試験の検証 本格実施に向けた準備  継続実施
				(2) 住民説明及び意見聴取 環境清掃指導員説明会において方針説明及び意見聴取し、環境清掃対策審議会へ報告 (3) 環境清掃対策審議会における検討 ・審議会開催(計3回) ・市長への中間報告を受けパブリックコメント中止 ・7月に審議会から「簡素化については、慎重に対応すべき」との答申を受ける ⇒ごみ袋の簡素化中止を決定	(1) 焼却処理に向け協議及び他市視察 ・江津市との協議(6月) ・邑智クリーンセンター、松江市、萩市を視察(7月) ・浜田地区広域行政組合及び江津市と3者協議(8月～9月) ⇒ 廃プラの焼却試験については、地元波子地区住民の同意が必要 (2) 安全管理委員会の開催(10月) ・廃プラ焼却試験について大筋合意 (3) 地元住民説明及び意見聴取 ・波子地区各種団体長説明会(10月) ・波子地区住民から意見聴取(11月) ・波子地区住民説明会(28年1月)			(1) 分別の簡素化を目的とした廃プラスチック類の焼却試験の実施 ・地元波子地区住民の同意を得た後実施(29年3月まで) ・測定結果等のデータ収集 ・測定結果等、地元へ経過報告 (2) 焼却による効果等を市民へ啓発 ・浜田市ホームページ等による広報活動							

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

V：生活基盤が整った快適に暮らせるまち

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価			
16	公共交通の充実 (項目名変更)	市民の生活を支える交通体系の構築	実施した内容	1 支援が必要な地域での高齢者補助制度の構築 (1)制度の準備(5~9月) ・浜田市地域公共交通活性化協議会で検討、決定	○	実施した内容	1 支援が必要な地域での高齢者補助制度の構築 (1)「敬老乗車券交付事業」の試行実施(4月~9月)	○	計画	1 交通弱者にやさしい移動手段の確保 (1)「敬老乗車券交付事業」の本格実施(7月頃開始予定) ・広報はまだ等での事業周知 ・特設窓口の設置、出張販売の実施	継続実施
				(2)「敬老乗車券交付事業」の試行開始(10月) ・対象者へ申請書、チラシの送付 ・出張販売	○		(2)利用実態調査・効果の検証 ・利用状況の集計(10月~11月) ・最終アンケート調査(12月~1月)	○		(2)地域との連携による移動手段の確保 ・コミュニティワゴン導入に向けた地元協議	
				(3)利用実態調査・効果の検証 ・初回申請時のアンケート調査 ・3か月経過後の追跡調査(27年1月)	○		(3)平成28年度以降の支援制度の拡大の検討 ・対象地域を全市へ拡大 ・上限を9冊から10冊へ拡大 ・販売額を500円から1,500円へ変更	○		(3)高校生の通学に対する支援 ・市内学生が市内高等学校へ通う場合の定期補助制度の導入	
				2 地域公共交通再編 (1)島根県立大学の協力を得て、地域公共交通の再編研究 ・県立大学教員との協議・検討(コンサルへ調査研究・検討業務を委託) ・路線バス乗降調査(11月) ・市内高校生アンケート調査(27年1月)	○		2 地域公共交通再編 (1)地域公共交通再編計画の策定(28年1月) ・策定主体: 浜田市地域公共交通活性化協議会(協議会3回、幹事会1回開催) ・パブリックコメント実施(12月)			2 公共交通ネットワークの再構築 (1)市街地路線の見直し ・平成29年度の路線再編に向けたバス事業者との調整	地域公共交通の再編を順次実施
				(2)再編方針の検討 ・県立大学教員及びコンサルからの提案を基に平成28年度以降の交通再編方針を検討	△			○		(2)幹線交通と地域内交通の再編 ・瑞穂線短縮に伴う旭自治区の交通再編	

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度				
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価					
17	充実した都市基盤の整備 (項目名変更)	魅力ある都市づくり	実施した内容	1 瀬戸ヶ島周辺整備 (海、お魚を活かした魅力ゾーン) No.1「水産業の活性化」参照	△	1 瀬戸ヶ島周辺整備 No.1「水産業の活性化」において瀬戸ヶ島埋立地の活用を明記のため削除	-	計画	事業実施 (設計、用地取得、園路・駐車場等整備)				
				2 浜田城周辺整備 (文化・歴史ゾーン) No.14「浜田開府400年記念事業」参照	△	2 浜田城周辺整備 No.14「浜田開府400年記念事業」において城山公園整備として分割 (1)関係機関との協議 ・事業手法等協議(国、県)	○						
				3 浜田駅周辺整備 (市民が集う商業賑わいゾーン) ・整備構想立案 ・関係機関協議 ・一部用地取得(君市踏切周辺)	○	3 浜田駅周辺整備 (1)南北道路整備 ・詳細設計 ・JRとの協議 ・説明会の開催 (2)賑わいゾーンの創出 ・土地利用検討 ・JT跡地取得(10月) ・JT跡地利用方針決定(12月)	△			2 浜田駅周辺整備 (1)南北道路整備 ・詳細設計 ・関係機関協議 (2)賑わいゾーンの創出 ・JA跡地利用検討 ・JT跡地利用検討、活用	○	事業実施	土地利用検討、活用
				追加: 4 市役所周辺整備(シビックコア) (1)関係機関協議、要望 ・国公有財産最適利用連絡会の開催(財務省中国財務局・浜田市) ・国土交通省中国地方整備局営繕部と協議		○	3 市役所周辺整備 (1)関係機関協議、要望 ・公共施設最適利用検討会の開催(庁内) ・国公有財産最適利用連絡会の開催(財務省中国財務局、浜田市)			○	関係機関協議、要望 最適利用プラン作成		

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

VI：安全で安心して暮らせるまち

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
				評価	総合評価		評価	総合評価		
18	災害に強いまちづくりの推進	安全で安心なまちづくり			実施した内容		計画	1 住民への情報周知手段の確保・充実 (1)屋外拡声子局数の増設(浜田自治区)	継続実施	事業完了
								(2)防災防犯メール登録者数の増 ・広報、各種集会等でのPR	継続実施	
								2 地域防災力の向上 (1)自主防災組織の組織率の増加 ・補助金を地域づくり振興事業補助金に統合	設立支援	継続実施
(2)防災出前講座の実施 ・目標60回開催	継続実施									
								3 災害応急活動体制の整備 (1)総合防災訓練参加者数の増加 ①住民参加型の防災訓練の実施 ・旭運動公園にて実施予定(6月) ・旭中学校生徒の積極的参加 ・6月を防災訓練強化月間と位置付け、自主防災組織による避難訓練や町内会行事に合わせた情報伝達訓練等の実施の支援	継続実施、検証・改善	

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

Ⅶ：協働による持続可能なまち

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度					
			評価	総合評価	評価	総合評価							
19	浜田那賀方式自治区制度の見直し	新制度の方針決定及び実施	実施した内容	1 浜田那賀方式自治区制度の見直し (1)自治区制度公聴会 〔時期〕 7～8月 〔場所〕 全8会場 ・浜田自治区 4会場 ・金城自治区 1会場 ・旭自治区 1会場 ・弥栄自治区 1会場 ・三隅自治区 1会場	○	△	実施した内容	1 浜田那賀方式自治区制度の見直し、方針決定 (1)今後の自治区制度について(最終案) ※32年3月まで延長、自治区長処遇等 の見直しの協議 ・地域協議会との意見交換(4月) ・議会特別委員会(4月) ・最終案を庁内決定(5月) ・自治区設置条例等の改正 (6月議会で議決) ・地域振興基金運用方法の協議・決定 (4～9月)	○	○	計画	自治区制度の実施 (32年3月末まで延長)	
				(2)議会との意見交換 ・議会特別委員会(10月)	○			(2)自治区制度延長の周知 ・広報はまだ8月号 ・石見ケーブルビジョン「扉を開けて」 (8月)	○				
				(3)「今後の自治区制度についての方針」の公表 ・議会全員協議会(11月) ・地域協議会合同会議(11月)	○								
				(4)「新自治区制度等についての修正と説明(案)」の意見交換 ・地域協議会合同会議(27年1月) ・議会全員協議会(27年2月)	△								
				見直しは平成27年度で完了									

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
20	まちづくりの推進	市民主体の地域づくりの推進			実施した内容		計画	1 活力ある地域コミュニティの形成 (1) 地域づくりの意識醸成 ・まちづくりフォーラム、講演会等の開催 ・広報紙、市ホームページ等での情報提供	講演会等の実施
								(2) 住民自治組織の設立支援 ・「地区まちづくり推進委員会」の設立促進 ・各自治区のまちづくり連絡会の設立促進	設立支援
								2 地域コミュニティへの支援の充実 (1) 活動支援 ・まちづくり総合交付金事業の実施 ・各種補助事業による支援	継続実施 及び検証・改善
								(2) 人材育成 ・地域リーダー育成研修会の開催	研修会等の実施
							3 市民の声を生かした地域づくりの推進 ・自治区ごとの「地域協議会」の開催 ・自治区合同の「地域協議会正副会長連絡会議」の開催 ・地域づくりに関する意見集約の実施	継続実施	

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

市政運営に係る重要な事項

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価		
21	萩・石見空港東京2便化の継続	利用者の拡大	実施した内容	○	○	実施した内容	○	○	計画	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">サポーター企業の登録推進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">利用拡大促進協議会の助成制度拡充のための協議</div>
			1 萩・石見空港の利用促進 (1) サポーター企業数の登録推進 ・登録企業数 28社(4月7日) →236社(27年3月末) (2) 浜田市独自の利用促進補助金の導入 ・申請状況 1,323人、9,825千円(27年3月末) (3) 制度のPR ・ポスター作成 ・チラシを作成し、新聞折り込み配布 ・ケーブルテレビ番組で市長による利用呼びかけ	○	○	1 萩・石見空港の利用促進 (1) サポーター企業数の登録推進 ・ポスター・チラシを作成、新聞折り込み ・ケーブルTV番組による制度PR ・登録企業数 310社(28年1月22日現在) (2) 利用促進補助金の継続 ・申請状況 2,855人、19,099千円(28年2月1日現在) (3) 利用拡大促進協議会の助成制度の拡充 ・助成制度の拡充 運賃助成キャンペーン「夫婦満点(年齢合計100歳以上の夫婦への助成)」の実施(28年3月)	○	○	1 萩・石見空港の利用促進 (1) サポーター企業数の登録推進 ・登録企業数拡大に向けたPR 目標数 500社 (2) 利用促進補助金の継続と拡充 ・新制度PR ・助成拡充 助成利用者目標数 3,700人 【助成内容】 65歳以上・サポーター企業 6,000円 65歳未満 4,000円 片道利用者(拡充) 2,000円又は3,000円(要件による) 大学・専門学校生(拡充) 2,000円(片道)又は4,000円(往復) (3) 利用拡大促進協議会の助成制度の拡充	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 東京便2便化継続決定 (平成28～29年度) </div>

No.	項目	目的・目標	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価		
22	島根県立大学に学部増設の提案	新学部等の設置と定員増(平成27年度から変更)	実施した内容	○	○	実施した内容	○	○	計画	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・島根県及び島根県立大学の検討状況の把握と早期実現への協力 ・引き続き要望活動 </div>
			1 島根県立大学に学部増設の提案 (1) 提案内容の検討 ・島根県立大学との協議 ・島根県との協議 ・市議会説明 ・地元選出県議説明 ・県内市長・周辺町長説明 ・関係団体説明 (2) 関係者に対し提案 ・島根県立大学支援協議会で「地域政策学部増設」要望書を承認 ・島根県知事に要望(8月) ・県立大学理事長に要望(8月)	○	○	1 島根県立大学の学部増設に向けた取組 ・島根県立大学浜田キャンパスの検討状況の把握と早期実現への協力 ・引き続き要望活動 ・島根県立大学浜田キャンパス内の将来構想検討委員会から学長に答申(平成27年度中(見込み))	○	○	1 島根県立大学の学部増設に向けた取組 ・島根県立大学の法人段階での検討について状況の把握と早期実現への協力 ・引き続き要望活動 ・島根県立大学の検討結果を踏まえた島根県への働きかけの強化	

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

自治区別計画

【金城自治区】～農業と観光によるまちづくり～

No.	項目	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価			
23	1 農業振興	実施した内容	1 農業振興 (1)元谷団地の開発 ①事業計画作成 ②用地取得(75ha)	○	実施した内容	1 農業振興 (1)元谷団地の開発 ①事業着手 建築物撤去(市事業)	○	計画	1 農業振興 (1)元谷団地の開発 ・土地造成等35ha(県営事業)	継続実施
			(2)農業サポート経営体の設立 ①みどりファームかなぎ設立 (27年1月)	○		(2)農業サポート経営体を核にした農地保全 ①みどりファームかなぎ ・作業受託 3ha ・担い手との連携 防除40ha	○		(2)農業サポート経営体を核にした農地保全 ①みどりファームかなぎ ・作業受託 4ha ・担い手との連携 防除40ha ②サポート経営体、農事法人等の支援 ・農業用機械・設備整備補助 ・鳥獣被害防止補助 ※農業振興サポート事業から移行	継続実施
			(3)農業振興サポート事業 ①農業用施設整備補助 ②鳥獣害被害防止補助	○		(3)農業振興サポート事業 ①農業用施設整備補助 ・27件 9,044千円 ②鳥獣害被害防止補助 ・29件 956千円 ※27年度をもって事業終了 全市基金事業へ移行	○		(3)県営基盤整備(実証)伊木地区 ①用水路パイプライン化 ・500m ②排水路暗渠化 ・100m ③畦畔芝生化 ・種子吹付1,500㎡	事業の継続
			(4)県営基盤整備(実証)伊木地区 ①用水路パイプライン化、排水路暗渠化、畦畔芝生化 ②老朽溜池整備	○		(4)県営基盤整備(実証)伊木地区 ①用水路パイプライン化 ・900mのうち400m実施 ②排水路暗渠化 ・排水路の調査 ③畦畔芝生化 ・除草作業 1,500㎡ ④老朽溜池整備 ・溜池調査を実施	○		(4)農産品の生産拡大、ブランド化 ①ピオーネの生産拡大 ・根域制限栽培の実証 ・金城町ふどう生産者協議会との協議 ②黒米・黒大豆等の生産推奨 ・黒米用コンバイン、黒大豆用色彩選別機の整備補助 ・まちづくり委員会、NPOとの協議	取組の推進

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

<p style="text-align: center;">2 観光交流</p>	<p>2 観光交流 (1) 美又温泉の再生 ① 温泉旅館のおもてなし向上対策 ② モデル旅館選定及び取組開始 ③ 温泉街路比較設計 ④ 景観まちづくり住民会議の発足 ⑤ 公的施設の方向性検討 ⑥ 歓迎塔看板リニューアル ⑦ 美又再開発用地の取得 ⑧ (株)ポーラとのコラボ企画</p> <p>(2) 交流人口の拡大 ① 金城スマートICでの観光イベント ② 全国障害者馬術大会開催 ③ ライディングパーク研修棟改修</p> <p>(3) パークゴルフ場の研究調査 ① 先進地視察 ② 美又温泉との連携協議</p>	△	△	<p>2 観光交流 (1) 美又温泉の再生 ① 温泉旅館のおもてなし向上対策 ・個別指導(モデル旅館3軒) ② モデル旅館取組を他の旅館へ波及 ・中間報告会開催(28年3月) ③ 温泉街路施工 ・石畳舗装200m、足湯1基 ※事業繰越(28年5月完成予定) ④ 景観まちづくり合意形成 ・住民協定の締結(28年1月) ⑤ 公的施設の方向性検討 ・検討委員会の開催 5回 ・中核施設、温泉会館のあり方、市有地の利活用の検討 ⑥ (株)ポーラとのコラボ企画 ・美肌食堂に食材提供 1回 ・ポーライベントでのPR 3回 ⑦ 美又温泉保養センター直営 ・4月25日から温泉旅館組合に委託</p> <p>(2) 交流人口の拡大 ① きんたの里大規模修繕 ・外観、空調ほか修繕 ② パラリンピックキャンプ地の誘致検討 ・検疫及びキャンプは東京馬事公苑で同時実施されるため、誘致断念 ③ LAGP2015HamadaRound(ランバイク大会)開催(8月)</p> <p>(3) パークゴルフ場整備の検討 ・旭自治区との連携 ・パークゴルフ場の視察</p>	△	△	<p>2 観光交流 (1) 美又温泉の魅力向上 ① モデル旅館の取組支援と成果の波及 ・個別指導(モデル旅館3軒) ・取組報告会の開催 ② 美又温泉エリアの整備 ・温泉街・周辺の景観形成補助 ・集客イベントの開催 ・中核的施設の検討 ③ 美又温泉国民保養センター直営 ・引き続き温泉旅館組合に委託</p> <p>(2) 交流人口の拡大 ① きんたの里の大規模修繕 ・ボイラ更新、温泉供給システム導入 ② 主要施設のネットワークの構築 ・(仮称)支配人会議の開催による情報共有 ③ 民泊・ツーリズムの推進 ・ゆめのねむら都市農村交流推進協議会との連携</p> <p>(3) パークゴルフ場整備の検討 ・旭自治区との連携 ・試行コースの検討</p>	<p style="text-align: center;">旅館の取組み支援 温泉エリアの整備</p> <p style="text-align: center;">継続実施</p> <p style="text-align: center;">気運醸成</p>
<p style="text-align: center;">3 まちづくり</p>	<p>3 まちづくり (1) 個性を活かしたまちづくり活動の推進 ① 地域提案型チャレンジ事業補助金 ・地域づくり活動 … 5団体(3,000千円) ・条件整備 … 1団体(550千円) ・組織・人材育成 … 2団体(600千円) ・検討委員会(12月)</p>	○	○	<p>3 まちづくり (1) 個性を活かしたまちづくり活動の推進 ① 地域提案型チャレンジ事業補助金(23~27年度) ・地域づくり活動 … 5団体(2,917千円) ・条件整備 … 3団体(19,071千円) ・組織・人材育成 … 5団体(1,350千円) ・検討委員会(3月) ② ポストチャレンジ事業補助金 ・次期制度の検討 連携活動の推進を目的として 「連携活動支援事業補助金」を新設 ③ 金城シェアハウス整備補助 ・地元運営委員会設立 ・シェアハウス改修補助 15,000千円 ・入居県大生募集 6名</p>	○	○	<p>3 まちづくり (1) 協働、連携による活動の推進 ① 地区まちづくり計画の更新 ② 連携活動の推進 ・連携活動支援事業補助金の活用により金城自治区まちづくり連絡会の取組や、地域団体の連携支援 ・まちづくりフォーラムの開催 ・美又「農山漁村(むら)の宝」認定記念イベントの開催(5月) ③ シェアハウス県大生との連携 ・地域サポート協議会の設立、運営</p>	<p style="text-align: center;">連携活動の推進</p>

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

【旭自治区】～旭インターを核としたまちづくり～

No.	項目	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			評価	総合評価		評価	総合評価		
24	1 農業振興	1 農業振興 (1) 担い手の位置付けと守るべき農地の選定 ① 人・農地プラン策定 ・旭全地区(公民館単位区)で策定 ・策定面積は481.6ha ② サポート経営体支援 ・経営検討会の開催 ・受委託の仕組みづくり支援	○	○	1 農業振興 (1) 農地の保全 ① 農地集積の推進 ・質の高い農地への基盤整備事業の実施 (農道、河川管理道舗装・・・4地区19集落) ② 作業受委託の促進 ・サポート経営体への支援 ・多角経営作目の検討 ・中核担い手への支援 ・農業機械購入補助 ・一般農家への周知 作業委託内容チラシ配布	○	○	1 農業振興 (1) 農地の保全 ① 農地集積の推進 ・質の高い農地への基盤整備事業等の継続実施 ・特色ある米ブランド化への支援 ・アスパラガス栽培の推進 ② 作業受委託の促進 ・サポート経営体への支援 ・中核担い手への支援 ・オペレーターの組織化検討 ・一般農家への周知	守るべき農地の維持 保全と流動化促進 米のブランド化と新規 作物の推進 受委託の継続促進と 地区オペレーターの 確保
	2 観光交流	2 観光交流 (1) 旭温泉の活性化 ① 余剰温泉水の活用 ・ビジネスプランコンテストの実施(27年3月) ② 集客向上の検討 ・パークゴルフ場の視察及び研究調査 ・あさひ温泉との連携協議 ③ あさひ荘リニューアルオープン(8月)	△	△	2 観光交流 (1) 旭温泉の活性化 ① 温泉水コンテスト提案採用者への事業実施支援 ・募集開始(8月) ・審査会(28年3月予定) ② 旭温泉集客アップ検討 ・周辺誘客施設との連携 アサヒテングストン、木田暮らしの学校からの割引制度を活用した誘客 広島PRセンターとの企画協議 コンサルタントによる集客アップ研修(宿泊者 対前年107%) ③ パークゴルフ場整備の検討 ・パークゴルフ場の視察	△	△	2 観光交流 (1) 旭温泉の活性化 ① 起業決定者への事業実施計画策定に向けた支援 ・事業実施予定地地権者との交渉支援 ・起業決定者への定住支援 ② 旭温泉集客アップ検討 ・周辺誘客施設との連携 広島PRセンターの有効活用誘導 ・泊まりやすい施設への施設整備支援 ③ パークゴルフ場整備の検討 ・整備に向けて金城自治区との連携強化	事業者実施への初期 投資支援 温泉施設との連携 スキー場と地元、市の 連携による誘客活動 継続的なツアープロ グラムの実施誘導 気運醸成
		実施した内容		実施した内容		計画			

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

3 まちづくり	3 まちづくり (1)未利用施設の利用検討 ①旧木田小学校施設等改修工事 (27年2月完成) ②旧今市分校改修設計 ③旧和田小学校を和田公民館として利用 (2)集落再編 ①集落での持続可能性の検討	○	△	3 まちづくり	(1)未利用施設の有効利用 ①木田・暮らしの学校プレオープン ・条例制定、指定管理者の指定 ・農業体験ツアー、結婚式、雑巾がけ タイムトライアル、婚活イベント等開催 ②旧今市分校の整備 ・図書館移転事業の断念 ・検討組織を結成し引き続き検討 ③旧和田小学校消防施設等整備 ・排気口・非常連絡設備設置、壁面改修 ④旧市木小学校跡利用検討 ・市木自治会と整備計画について協議 ・地域交流施設に転用することを決定 (2)集落機能の強化 ①現行60集落の再編支援策の実施 ・3地区(来尾、都川、重富)7集落の再編支援	△	△	3 まちづくり	(1)未利用施設の有効利用 ①木田・暮らしの学校開校 ・木田地区振興協会による指定管理者運営(平成28年度から30年度) ②旧今市分校の整備 ・再検討具体案を提示 ③旧和田小学校校舎貸与再公募 ・地域雇用の生まれる施設として公募 ④旧市木小学校校舎解体・改修工事、ふれあい広場の整備 ・地域交流施設として転用 ⑤旭自治区まちづくり連絡会の設立支援 (2)集落機能の強化 ①再編支援策の継続実施	木田地区振興協会が主体で各種プログラムを実施 有効利用のため関係機関との連携を深める 更なる集落機能再編のサポート
	△	○								

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【弥栄自治区】～農業生産と加工・体験交流による定住促進～

No.	項目	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度			
		評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価				
25	1 農業振興	実施した内容 1 農業振興 (1) 農業振興 ① 有機農業者の育成 ・施設野菜生産者協議会 ・定例会議の開催 ・先進地視察の実施 ② 弥栄米のブランド化 ・集落営農組織との協議 ・集落営農推進協議会の設立 (2) 農産品加工 ① 農産物の利用 ・町内農産加工品の取りまとめ ・町内農産加工グループ協議会 ・どぶろく振興協議会の強化 ② 鳥獣肉加工処理施設検討 ・処理施設先進地視察 ・ジビエサミット参加	○	○	実施した内容 1 農業振興 (1) 農業生産 ① 有機野菜農家の育成 ・農家所得500万円を目指す野菜農家モデルの決定(12月) ・堆肥センターを活用した土づくり(関係者協議中) ・ハウス団地整備計画(検討中) ・新期就農者支援計画の策定(12月) ② 弥栄米のブランド化と奨励作目 ・集落営農組織生産者協議会(5月設立、12回開催) ・弥栄米袋作成(9月) ・弥栄米ブランド推進大会(28年2月) ・弥栄米推進計画作成 ・食味値80以上を目指した栽培方法を統一した取組開始(10月) ・転作作目(大豆、ソバ)の推進 作付面積15.0ha (2) 農産品加工 ① 農産加工品の増産支援 ・やさか加工グループ立上げ(12月) ・弥栄自治区特産品加工場改修(12月) ・どぶろく、みそ、いぶり香香、漬物類加工増産 いぶり香香: 3,500本(26年度: 700本) どぶろく: 12,000千円 (26年度: 9,153千円) ② イノシシ肉加工 ・イノシシ肉加工処理施設新設(11月) ・精肉処理加工⇒販売開始	○	○	計画 1 農業振興 (1) 有機野菜農家の育成 ① 弥栄自治区有機農業推進協議会 ・市内業者との提携 ・農家所得500万円を目指す野菜農家モデルの推進支援 ・堆肥センターを活用した土づくり (2) 弥栄米のブランド化と奨励作目の推進 ① 組織体制の構築 ・法人化 ・事務局、営業体制の整備 ② 弥栄米のブランド化 ・弥栄米栽培基準の推進 ・販売促進 ・交流活動の実施(田植、稲刈り体験) ・弥栄米パンフレットの作成 ③ 大豆等の推進 ・新品種への取組拡大 (3) 農産品加工 ① 農産加工品の支援 ・弥栄加工計画の作成 ・加工品の製造 ② イノシシ肉加工 ・猪肉の販売促進	○	○	新規就農者と優良農地のマッチング 弥栄米の販売促進、生産拡大、交流拡大 市内業者との連携促進 弥栄の食の研究

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

2 観光交流	<p>2 観光交流</p> <p>(1) 交流人口の増加の仕掛けづくり</p> <p>① 弥栄の食材・地域資源(人)の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三國シェフによる研修会開催 ・全国どぶろく研究大会への出品 ・新メニュー考案(ソバと地元食材) <p>② ツーリズムの拠点づくりの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めぐりん四季の体験交流 ・弥栄ええとこ歩きの実施 ・大学フィールドワークの実施 <p>(2) ふるさと体験村の利用促進</p> <p>① 宿泊者の増加への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した体験(癒し、合宿、研修)メニュー構築 ・情報発信への取組 	○				<p>2 観光交流</p> <p>(1) 体験交流</p> <p>① ふるさと体験村を活用した交流イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季の体験交流イベント(13回) ・しし肉ジビエ料理の提供 ・ふるさと体験村料理メニューで提供 ・新そば、新米どぶろくイベント(未実施) ・山陰どぶろく研究大会(9月) ・体験村ホームページ更新(27年度中更新予定) <p>② ツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学フィールドワークの受入れ(9月) ・弥栄地域魅力プログラムの構築(未実施) ・県内モニターツアーの実施(未実施) <p>(2) ふるさと体験村の利用促進</p> <p>① 宿泊者の増加への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民泊との連携による宿泊型体験交流の実施(未実施) ・体験村ホームページ更新による体験メニューの情報発信(27年度中更新予定) ・浜田市ツーリズム協議会との連携(そば打ち体験、川遊び体験を実施) 	△				<p>2 観光交流</p> <p>(1) 体験交流</p> <p>① ふるさと体験村を活用した交流イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季の体験交流イベント ・しし肉ジビエ料理の提供 ・新そば、新米どぶろくイベント <p>② ツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業交流体験事業の実施 <p>(2) ふるさと体験村の利用促進</p> <p>① 宿泊者の増加への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民泊との連携による宿泊型体験交流の実施 					<div style="border: 1px solid black; background-color: #e6f2ff; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">弥栄体験交流の充実</div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e6f2ff; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">弥栄らしさの追求</div>
--------	---	---	--	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--	--	---

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

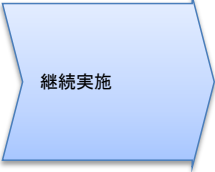


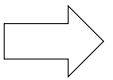



25	3 まちづくり	<p>3 まちづくり</p> <p>(1) 定住促進</p> <p>① 弥栄に住み続けるための環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住みよい集落づくり事業による集落活性化支援 ・定住サポート推進員の設置 ・住宅の新築及び改修への支援 ・高等学校等への通学費への支援 <p>② 住民主体のまちづくり推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり推進委員会への活動支援 <p>③ 農業研修生の受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業人フェアへの参加 ・農林業支援センター <p>④ 新規就農者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修受け入れ先との協議連携 	○	△	<p>3 まちづくり</p> <p>(1) 定住促進</p> <p>① 弥栄に住み続けることへの環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住みよい集落づくり事業による集落活性化 21集落の事業に対し補助 ・定住サポート推進員の設置 空家調査、Uターン招致活動に従事 ・住宅の新築及び改修への支援 2件の新築補助 ・高等学校等への通学費への支援 24名に補助 <p>② 住民主体のまちづくり推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり推進委員会への活動支援 婚活事業や産直市事業に協力 ・まちづくり組織の再構築に向けた関係自治会長会と協働し再構築準備（平成28年度から実施） <p>③ 農業研修生の受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業人フェアへの参加（6回） 農業現地ツアーの参加に繋がった <p>④ 新規就農者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修受け入れ先との協議連携 4組受け入れ 	○	○	<p>3 まちづくり</p> <p>(1) 定住促進</p> <p>① 弥栄に住み続けることへの環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落と協働した定住者の受け入れ ・住宅環境の整備支援 ・定住後の生活環境相談支援 <p>② 住民主体のまちづくり推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と一体化したまちづくり組織の活動 ・住民主体の研修事業開催 <p>③ 農業研修生受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業人フェア等、積極的なスカウト活動 ・研修期間からの新規就農サポート <p>④ まちづくり活動拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政財産のスリム化に併せた拠点整備 	○	△	<p>(2) 災害に備える体制づくり</p> <p>① 地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治区内防災体制の整備 9集落が組織化 ・集落における防災体制構築への支援 説明会・出前講座等を23回実施 ・避難行動要支援者の個別計画の作成 説明会を実施 	○	○	<p>(2) 災害に備える体制づくり</p> <p>① 地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治区内防災体制の整備継続 ・集落における防災体制構築への継続支援 ・避難行動要支援者の個別計画の作成 	○	○	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">検討に基づいた実施 内容のローリング</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">検討に基づいた実施</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">活動の実践 研修の実施と成果の反映</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">説明会をはじめとした 地元理解の醸成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">継続実施</div>
		<p>(2) 災害に備える体制づくり</p> <p>① 地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治区内防災体制の整備 モデル地区での発災対応型訓練の実施 ・避難行動要支援者名簿の作成 	△		<p>(2) 災害に備える体制づくり</p> <p>① 地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治区内防災体制の整備 9集落が組織化 ・集落における防災体制構築への支援 説明会・出前講座等を23回実施 ・避難行動要支援者の個別計画の作成 説明会を実施 	○		<p>(2) 災害に備える体制づくり</p> <p>① 地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治区内防災体制の整備継続 ・集落における防災体制構築への継続支援 ・避難行動要支援者の個別計画の作成 	○	<p>(2) 災害に備える体制づくり</p> <p>① 地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治区内防災体制の整備継続 ・集落における防災体制構築への継続支援 ・避難行動要支援者の個別計画の作成 	○	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">継続実施</div>					

「元気な浜田」をつくるためのロードマップ

【三隅自治区】～地域に根ざしたまちづくり、三隅発電所を核としたまちづくり～

No.	項目	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度
		評価	総合評価	評価	総合評価	評価	総合評価	
26	1 産業振興	実施した内容	○	○	実施した内容	△	△ 計画	<ul style="list-style-type: none"> 継続実施 (他市でイベント実施) 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 (栽培管理・新規植付)
			○			○		○
			<p>1 産業振興</p> <p>(1) 石州半紙の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ユネスコ無形文化遺産再登録 <ul style="list-style-type: none"> ・本美濃紙、細川紙との連携協議 ② 新商品化と販路開拓の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・過去の新品開発に関する企画書のデータ化 ・和紙技術会との協議・課題整理 ・ふるさと寄附の商品登録 ・千葉すずさんの「PR大使」委嘱 ③ 「碧い石見の芸術祭」との協働 <ul style="list-style-type: none"> ・美術大学学生の画材活用の検討 ・和紙デザインコンペの開催と製品化検討 ④ 原材料「楮」の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・原材料の確保対策のための楮栽培 (30a) <p>(2) 特産品「西条柿」の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 灌水施設等の整備 (平成26年～29年) <ul style="list-style-type: none"> ・生産向上のための耕作地の整備 ② 地元生産者との協議 <ul style="list-style-type: none"> ・新商品化と付加価値化、販路開拓の研究 ・後継者と労働力不足の検討 ③ 販売促進の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・三隅特産品販売センター (道の駅) 活用 		<p>1 産業振興</p> <p>(1) 石州半紙の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「ユネスコ無形文化遺産」 <ul style="list-style-type: none"> ・登録3団体によるシンポジウムを東京で開催 (8月) ② 新商品化と販路開拓の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・和紙の郷づくり企画の策定について和紙会館運営を含めて協議中 ・和紙会館のあり方を和紙技術者会と協議済み ・ふるさと寄附の登録商品を各事業所 (4事業所) で提供 ・和紙人形教室を開催 (6回開催 (1回あたり2日間)、14名受講) ・新製品の試作品製作と役割分担未実施 ③ 「碧い石見の芸術祭」との協働 <ul style="list-style-type: none"> ・美術大学学生の画材活用として、石本正日本画大賞展出展者に画材提供 ・デザインコンペの商品化について、しまね産業振興財団、碧い石見の芸術祭実行委員会と協議中 ・デザイナーとの連携と協力の確立化未達成 ④ 「楮」の新規植栽 <ul style="list-style-type: none"> ・70aの計画に対し、40aを新規栽培 ・新規耕作者に対し、楮栽培、加工等の技術研修を実施 <p>(2) 西条柿の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 灌水施設等の整備を計画通り実施 <ul style="list-style-type: none"> ・東平原地区 (平成26年～29年) ② 地元生産者との協議 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題整理と詳細調査を実施 ・規格外品の活用を検討中 ・地域加工場設置、運営を検討中 ・生産者有志による西条柿生産検討委員会の立上げ ③ 販売促進の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅と生産組合、生産者との連携による西条柿販売を実施 		<p>1 産業振興</p> <p>(1) 石州半紙の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「ユネスコ無形文化遺産」 <ul style="list-style-type: none"> ・登録3団体によるイベントの開催 ② 石州和紙会館の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・営業体制の構築と販路拡大 ③ 後継者育成 <ul style="list-style-type: none"> ・研修生の受入れ ④ 新商品化の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・石州和紙推進組織の立上げ ・和紙技術者会との協議 ・新製品開発プロジェクトの開始 ・デザイナーとの連携と協力の確立 ⑤ 「碧い石見の芸術祭」及び「石正美術館」との協働 <ul style="list-style-type: none"> ・美術大学学生の画材活用のPR ・デザインコンペの商品化の取組 ⑥ 原材料「楮」の新規植栽 <ul style="list-style-type: none"> ・新規栽培40aを計画 ・楮生産者と和紙生産者による将来展望協議 ・楮栽培、加工等の技術研修実施 <p>(2) 西条柿の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 灌水施設等の整備継続 <ul style="list-style-type: none"> ・東平原地区 (平成26年～平成29年) ② 西条柿生産検討委員会との協議 <ul style="list-style-type: none"> ・冷凍西条柿活用の協議・実験 ・干し柿・シャーベット等、地域で生産可能な加工品の技術協議 ・先進地視察及び専門家等との商品開発の協議 ③ 販売促進の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅を利用した、西条柿試作品等の販売 	

「元氣な浜田」をつくるためのロードマップ

2 まちづくり	<p>2 まちづくり</p> <p>(1) 住民自治組織の構築と協働</p> <p>① 地域の課題解決と地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり実践のための各地域の計画書作成支援 ・各地域の課題解決のための支所支援(地域担当制) ・コミュニティ活動の支援 <p>② 自治組織の活動拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会所の改修等の補助 <p>③ 災害・防災時の住民自治組織の体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の設立支援 ・支所・地域・消防団との連携 	○	<p>2 まちづくり</p> <p>(1) 住民自治組織の構築と協働</p> <p>① 地域の課題解決と地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり実践のための各地域の計画書作成支援により、6地区中5地区が策定 ・各地域の課題解決のための支援は、岡見(買物支援)、井野(地域内交通、育苗センター有効活用等)で協議中 ・コミュニティ活動の支援として、自治会、地域活動団体へ補助(41件) <p>② 自治組織の活動拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会所の改修等の補助(20件) <p>③ 災害・防災時の住民自治組織の体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の設立について、2自治会と協議中 ・支所・地域・消防団と連携した訓練を三隅地区で実施 ・住民の学習機会として防災出前講座を実施 ・地域担当制による地域への支援 	○	<p>2 まちづくり</p> <p>(1) 住民自治組織の構築と協働</p> <p>① 地域の課題解決と地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり実践のための各地域の計画書作成支援 ・各地域の課題解決のための支所支援 継続(地域担当制) ・コミュニティ活動の支援 ・コミュニティ活動活性化のための備品等の補助 <p>② 自治組織の活動拠点の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会所整備への補助 <p>③ 災害・防災時の住民自治組織の体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の設立支援 ・支所・地域・消防団との連携強化(訓練等) 	<div style="text-align: center;">  <p>継続実施</p>  <p>継続実施</p>  <p>継続実施</p> </div>
3 三隅発電所を核としたまちづくり	<p>3 三隅発電所を核としたまちづくり</p> <p>(1) 火力発電所2号機の早期着工</p> <p>① 2号機建設の早期着工の働きかけ</p> <p>② 石炭灰を活用した造粒物の製造設備の設置</p>	△	<p>3 三隅発電所を核としたまちづくり</p> <p>(1) 火力発電所2号機の早期着工</p> <p>① 2号機建設の早期着工の働きかけ</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 平成30年11月着工、 平成34年11月運転開始 が決定 </div> </div> <p>② 着工に向けた協議、調整等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元説明会の実施 ・環境影響評価方法書等説明会開催の協議 <p>(2) 石炭灰を活用した造粒物の製造設備の設置</p> <p>① 設置の働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年11月からHiビーズ製造工場の現地工事、平成28年5月に三隅工場本稼働予定 	○	<p>3 三隅発電所を核としたまちづくり</p> <p>(1) 三隅発電所2号機建設に伴う地域の活性化</p> <p>① 作業従事者の宿舍対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三隅発電所との協議 ・空き家調査 ・空き家等の確保 <p>② 住民自治組織等による宿舍運営の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿舍運営実施に向けての検討 ・各地区まちづくり委員会、自治会等との協議 <p>③ 地元業者の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会等との協議、調整 	<div style="text-align: center;">  <p>継続実施</p>  <p>継続実施</p>  <p>継続実施</p> </div>